

桑名文化協

令和7年9月15日

第58号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<https://bunkyo-kuwana.jp>

就任のご挨拶



桑名市文化協会
会長
森 一蔵

会長に就任して二期目を迎えます。一期目は理事役員の皆様方の御協力もあって文化協会の活動も活発に終了する事が出来ました。厚く御礼申し上げます。

令和七年五月十一日に第33回の定期総会を桑名市パブリックセンターにて開催いたしました。令和六年度の事業報告、決算報告、令和七年度桑名市文化協会役員の方表、役員新任の挨拶、令和七年度の事業計画、収支予算等について審議、可決承認され、今年度の事業が現在展開されております。

文協第54号で初代会長佐藤勤三氏の言葉を引用させて頂きました。「中央と地方の文化という構図はない。東京は東京、桑名は桑名の文化がある。それは美しく清

らかに、そして個性的でなくてはならない。」

私事ですが、昨年度末新しく出来た三重県の伝統工芸士に、個人会員である山本翠松氏と共に認定されました。永年文化協会の様々な活動を通して桑名の文化を盛り上げたいとの想いで参加して参りました。

自分限りでなく後に続く世代に伝えて行く事が桑名の文化の継承と思っております。自分一人の力によつて物事は成就するものだと思います。年齢に関係なく大いに活動に参加して一言でも話を交わし交流することだと思いません。皆様の御協力と御活躍を祈念いたします。



『誰でしょう?』

桑名市文化協会

副会長 西村治生

アロハ姿のミュージシャンは、なにを隠そう私です。六月二十二日(日)六年ぶりのバンドライブを開催しました。

三十五年続いた”JCブラザーズ”が、コロナ以降メンバーとの死別など、多くの障害を乗り越えての再出発です。久しぶりで本番前は演奏と歌に自信が持てず、恥ずかしくてドキドキしました。

バンド休止中の六年間は、他ごとの悩みでギターを弾いて歌うことを心の底から楽しめない日々が続きました。

今回、バンドリーダーからライブを目標に練習再開を告げられたことで吹っ切れ、心の重荷が少し軽くなりました。

音楽仲間との活動が、私の唯一の趣味であることを思い出させてくれました。機会がありましたら、ぜひ一緒に盛り上がりましょう。

これを機に。



定期総会を終えて

桑名市文化協会

副会長 安田治三

令和七年度定期総会に於いて、引き続き副会長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。昨今の世界情勢は目まぐるしく経験したことのない事項が次々と勃発しています。

誰しもが平和で安穏とした日々を願うばかりで、こんな時代にこそ文化の大切さや有難さをひしと感じるのはきつと私だけではないと思えます。

文化は平和な生活や日々を暮らす希望や夢であり、文化の力は人と人との交流の中で優しい気持ちになりたり人への思いやりなどを生むものと私は信じています。

そんな文化協会に微力ですが一助になればと思っております。皆さん一緒に楽しみましょう。



第34回 市民芸術文化祭へのお誘い

美術を身近に

美術部門 青黄会

佐藤武男

美術部門には20を超す団体・個人の会員が所属しており、桑名市民芸術文化祭では多くの力作が発表されます。絵画・書道・写真・陶芸・美術工芸など幅広い分野の作品が一堂に展示されますので、楽しみ方はさまざまです。

美術は美を視覚的、空間的に表現する芸術です。フランス・ラスコの洞窟壁画が描かれた古代より、人は美を表現することを生活の一部として楽しんできました。現在ではイラストやデザイン、アニメなども美術の領域であり、美術はますます身近になっています。

今回の出展作家の皆さんは、自分が創造したいものを少しでも上手く表現すべく、日頃から研鑽を重ね熱い思いがこもった作品に仕上げられています。

この文化祭は市民の皆様は美術

を身近なものとして鑑賞していただく絶好の機会です。一つ一つの作品の持つ力が皆様方の琴線に触れ、心豊かな時間を過ごしていただけるものと思います。



ダンスアートフェスティバル

芸能Ⅲ部門 ラブリーフラ

近藤美詠子

皆様、アローハ！

芸能Ⅲ部門より「ダンスアートフェスティバル」と題しまして、

金田枝里香バレエ教室、バレエ・スタジオオリラ、そして私どもラブリーフラの3団体で、11月30日（日）14時より、柿安シティホール大ホールにてバレエとフラを披露させていただきます。

フラは、ハワイの歴史や文化、神話を表現する手段として、古くから大切に踊り継がれてきました。踊りだけではなく、歌、詠唱、演奏などを含めた総合芸術です。歌詞の内容を手や腰の動きで表現します。美しい音楽と踊り、そして



物語を表現する奥深さ、ダンサーの衣装やレイ、髪飾りなどにも注目して鑑賞してみてください。きつ

とお楽しみ頂けると幸いです。

そしてバレエでは、パ・ド・ドゥという、男女2人の踊り手によって展開されるバレエの中の最大の見せ場もあるそうです。

お客様がほんのひと時でも心が癒やされるよう、出演者一同、心を込めて踊ります。皆様のお越しをお待ち申し上げております。

吟剣詩舞道の祭典

芸能Ⅱ部門 多胡峻風

(桑名市吟剣詩舞道連盟)

私どもの部門は、市民芸術文化祭に「吟剣詩舞道の祭典」と銘打ち十一月三日(祝)文化の日に柿安シティホール小ホールに於て披露します。

吟剣詩舞道は、長い歴史と伝統を持ちながらも、現代においても進化し続けている日本の貴重な文化です。吟詠は漢詩や和歌、俳句、新体詩に節をつけて歌う芸術です。独りで詠う独吟、多数で詠う連吟、複数の詩歌を組み合わせて、映像を用いて一つの物語やテーマを表現する構成吟などがあります。剣舞は主に日本刀(模擬刀)を用いて詩の内容を表現する

趣味教養部門の活動

趣味教養部門 愛石会

中山みどり

舞です。詩舞（しぶ）は剣舞から派生した舞で、主に扇を用いて舞います。剣舞より柔らかな振りが特徴で、内容を情感豊かに表現します。

さて、今回は吟詠部門から岳風流ならびに関心流、剣詩舞部門からは朧明流ならびに天辰神容流の四団体が一堂に会し、吟じ舞います。大きな声で吟詠したり、剣詩舞で全身を動かしたりすることは健康増進につながります。どなたにも楽しんでいただける内容となっておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



文化協会が発足した1992年桑名愛石会も趣味教養部門の一つとして誕生しました。そして桑名市民芸術文化祭に参加させてもらいました。その頃は旧市民会館で3階の大会議室や大ホール、小ホール、ホール間のスペースが会場でした。ホールで演奏会や演劇を楽しんで、その後2階や3階の会議室に上がってきてもらい、展示を楽しんでもらいました。ともかくエレベータもない中、3階まで上がってきてくださるお客さんに感謝しながら、ちよっと変わった石の展示に興味を持って見てくださいました事を思い出します。他に趣味教養部門は会議室で囲碁や将棋の会が、小ホールでは手芸の展示やファッションショー、六華苑では百人一首かるた大会といろいろな活動がありました。

2005年からはくわなメデイアライヴができ、高い天井、明るい照明の多目的ホールで「趣味教

養祭」として、手芸や着物の帯結びの体験、彫型画、そして水石が一堂に展示をした時期もありました。今は、日程を四つに分けて、水石の展示、着物と手芸の展示と体験、くわコレ²⁵とする編み物作品の展示、そして百人一首かるた大会を行っています。文化協会に入って趣味の発表の場があり、この日のために作品をつくったり、探石（川で石を探す）の楽しみが生まれました。

今年も10月から始まる市民芸術文化祭には是非いらしてください。そして「私も自分の趣味の作品や趣味で集めたものを皆さんに発表したいな」と思った方は是非、文化協会趣味教養部門に参加を考えてみてください。



第34回 桑名市民芸術文化祭 ポスター原画表彰式

今年度の文化祭ポスター原画には、幼稚園児から80歳代まで13点の応募があり、水彩、切り絵、写真、グラフィックアート等、多様な力作が集まりました。

優秀賞には、桑名市在住の長谷川真木さんが選ばれました。桑名に古くから伝わる鋳物。この鋳物の技術、文化を通して桑名がさらに魅力的になってほしいという願いを込めて、鋳物のデザイン等を切り絵で表現された作品です。

佳作には、桑名市在住の廣田厚美さんが選ばれました。ゆめはまちゃんやまぐり犬をのびのびとおおらかなタッチで描いた作品です。

8月6日に関係者による表彰式を行いました。



長谷川真木さんと廣田厚美さんを囲んで

第34回 桑名市民芸術文化祭 ～プログラム～

市民芸術文化祭を開催します！
芸術・文化を身近に感じて頂ける多彩なイベントです。



趣味教養祭(水石展)	【入場無料】 10月18日(土)9時～17時 10月19日(日)9時～15時 場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール	
華道展	【入場無料】 10月25日(土)13時～16時 10月26日(日)9時～15時30分 場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室	
芸能の祭典 (日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など)	【入場無料】 11月 1日(土) 13時～16時(開場12時) 11月 2日(日) 10時～16時(開場9時30分) 場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール	
吟剣詩舞道の祭典	【入場無料】 11月3日(月・祝) 12時30分～16時(開場 12時) 場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール	
お茶会	【六華苑入苑料必要】 【呈茶券必要】 11月3日(月・祝) 10時～12時 13時～15時30分 (入場受付15時まで) 場所:六華苑 一の間:煎茶松風流 離れ屋:茶道裏千家	【呈茶券】 前売 お茶二席 1,700円(入苑料込) 当日 お茶一席 700円(入苑料別) 【入苑料】 一般460円/中学生150円/小学生以下無料 前売券は文化協会事務局・六華苑にて販売
演劇の祭典 「リーマンカフェ」	【チケット購入必要】 3,000円 (食事代を含む) 11月15日(土) 両日とも 12時30分～ (開場30分前) 11月16日(日) 17時30分～ (開場30分前) 場所:れすとらん あずまや	
美術部門展 2025	【入場無料】 11月21日(金) 12時～17時 11月22日(土) 9時～17時 11月23日(日) 9時～16時 場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール	
音楽のフルコース	【入場無料】 11月23日(日・祝) 13時～16時(開場12時30分) 場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール	
趣味教養祭 (パッチワーク・きもの)	【入場無料】 11月29日(土) 9時～17時 11月30日(日) 9時～15時 場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール	
社会文化部門展 ～本年の話題から～	【入場無料】 11月29日(土) 9時30分～16時30分 11月30日(日) 9時～16時 場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室	
小倉百人一首 初心者かるた取り大会	【見学無料】 【参加費・申込必要】 11月30日(日) 9時30分～17時 場所:くわなメディアライヴ 2F 和室	
ダンスアートフェスティバル	【入場無料】 11月30日(日) 14時～17時 (開場13時30分) 場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール	
趣味教養祭 くわコレ'25	【入場無料】 12月6日(土) 13時～16時 12月7日(日) 9時～15時 場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール	
「桑名文協」第59号に文芸作品発表	2026年3月発行 各まちづくり拠点施設、公共施設等にて配布	

☆最新の情報は桑名市文化協会ホームページをご確認ください。



参加型のコンテンツのあるイベントです。
様々な文化体験をお楽しみください。
(材料費別途必要な場合もあります。)



<https://bunkyo-kuwana.jp>

☆お問合せ:文化協会事務局(観光課内)(TEL24-1361 FAX24-1140)まで

●協賛事業

第49回桑名美術クラブ展 油彩、水彩作品を多数展示しますので、ぜひご覧ください 【入場無料】
9月25日(木)～9月28日(日)
9時～17時(初日12時～ 最終日15時30分まで)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

混声合唱団 混声合唱のハーモニーの美しさをお楽しみください 【チケット購入必要】
シャンテ・クレール 第36回定期演奏会 チケット 1,000円
10月25日(土) 13時30分～16時(開場13時)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

10歳代から80歳代までの奏者(男性奏者も多数参加予定)による琴、三味線、尺八の演奏をお楽しみください

邦楽演奏会 ぐるーぷ束 【入場無料】
12月14日(日) 13時～15時30分(開場12時30分)
場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール

令和7年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

	申請者	事業名	開催期日	開催場所
1	都山流尺八豊山会	トリプル祝賀記念コンサート	R7.5.25	光精工コミュニティプラザ
2	多度雅楽会	桑名六華苑 秋の舞楽会	R7.11.8~11.9	六華苑
3	桑名吹奏楽団	桑名吹奏楽団 第50回定期演奏会	R7.9.21	柿安シティホール
4	くわな市民コーラス	女声合唱団くわな市民コーラス第28回演奏会	R7.5.25	柿安シティホール
5	シャンテ・クレール	シャンテ・クレール 第36回定期演奏会	R7.10.25	柿安シティホール
6	エチュード	エチュード展	R7.10.7~10.12	ギャラリーMisono
7	桑名能楽連盟	第38回桑名能楽連盟発表会	R8.3.21	柿安シティホール

トリプル祝賀記念コンサート

芸能I部門 都山流尺八

荒木敏文

昨年10月30日に、令和6年度桑名市文化功労者を受賞しました。私はこの受賞理由は、学生時代のクラブ活動として研鑽した「尺八音楽」を通じての、古典芸能の演奏活動及び長年の文化協会の役員としての活動が評価されたのかな、と思っております。

そして、今回の受賞を一つのきっかけとして、何かしたいとの思いで、日頃お世話になっております箏曲・三絃教室を主宰されてみえます宮永洋子先生と相談し、演奏会の計画をいたしました。

計画については半年前からとし、

演奏曲・出演者・会場の確保・来賓等への出演のお願、育成補助金の申請等の打合せ事項が山積し、今、振り返りますと大変であったと思



荒木敏文氏は下段右から三人目

っています。

演奏会当日には、多くの来場者があり、また沢山の生花でロビーを飾っていたとき、主催者としては大変感謝したところであります。

また、金重軍さんによる中国楽器・楊琴の演奏・都山流尺八コンクール金賞の加藤奏山先生の独奏と、演奏会に花を添えて頂きました。

この様に演奏会が出来ましたのも、日頃からご支援して頂いている、文化協会の皆様、絃方の先生、また都山流尺八三重県支部、箏曲箏奏、豊山会の皆様のお陰と思っております。

これからも精進して「芸能の祭典」「六華苑祭」に参加し、尺八を楽しみたいと思っております。

「歌う喜び」仲間と共に

音楽部門 くわな市民コーラス

三田亮子

この度は、5月25日柿安シティホール・大ホールにて、第28回演奏会を開催させていただきました。

私達「くわな市民コーラス」は、78年発足、もうすぐ50年、文化協会第一期生の女声合唱団です。

新しい曲に出会う度に、新しい喜びに出会い、楽しい時間を仲間とわかちあっています。

今回は盲目の詩人ゆきやなぎれい作詩「悲しみ色のスケッチ」（信長貴富作曲）です。「つないだその手



は」という曲の中ではコオロギを「天から秋が降ってくる」と表現しています。詩が言葉が歌う度に心にさざりました。大切に大切に練習を重ねました。この組曲を聴いていただけの事は喜びです。「愛のステージ」ではピピュラーを楽しく、ゲスト金森圭司氏の故郷愛あふれるヴァイオリン、「わをん」さんの深みある男声合唱も好評でした。

最後にゲストの方々と共に演奏してきた「信じる」には、熱い熱い拍手をいただきました。メッセージ・平和への願いを共感しました。

これからも、歌う喜びを皆様と分かちあい、楽しい時を重ねて行きたいと思っております。

活動にスポット

桑名の名産品等に 関する調査報告

社会文化部門 消費文化研究会
城田吉孝

消費文化研究会(代表 城田吉孝と井内康雄・高橋洋一郎)が桑名の名産品等の認知や、親しみ度に関する調査を行いました。

調査時期は令和五年七月一日～八月三十日、桑名のサークル活動や津田学園関係者など、集合調査によって一〇九名の協力を得た。男女約半々、十歳代から五十歳以上、学生・給与所得者・パート・主婦などで八割を占めている。

《主な調査結果の内容》

魅力度 五段階平均値の上位3項目

- ① 桑名の名産品 (13項目)
 - 安永餅 四・三七
 - はまぐり 三・八三
 - 牛肉 三・六八
- ② 伝統工芸品 (6項目)
 - 千羽鶴 三・七三
 - 鋳物 三・四三
 - そうめん 三・三六
- ③ 観光地 (8項目)
 - ナガシマ 四・五〇
 - なばなの里 四・三二
 - 多度大社 四・〇六
- ④ 桑名祭り (7項目)
 - 石取祭 四・一七
 - 多度祭 三・六七
 - 金魚まつり 三・〇四



認知度 「よく知っている」「知っている」を合わせた構成比

- ⑤ ログマーク 「本物力こそ桑名力」 73・39%
 - ⑥ マスコットキャラクター 「ゆめはまちゃん」 88・57%
 - 男女別分析 五段階平均値の比較
 - ① 名産品の親しみ度 安永餅 女性四・六二 男性四・一六
 - ② 伝統工芸品の期待度 そうめん 女性三・四七 男性三・二六
 - ③ 観光地の期待度 ナガシマ 男性四・五五 女性四・四五
 - ④ 桑名の祭りの期待度 石取祭 男性四・二〇 女性四・一三
 - ⑤ ログマークの認知度 男性三・一三 女性二・九八
 - ⑥ マスコットの認知度 女性四・五五 男性四・一一
- 他に学生と一般、職業別・年齢別の特徴は割愛した。本調査を基に郷土桑名の魅力を検討したい。



本物力こそ桑名力



トーンポップスの活動

音楽部門
トーンポップスオーケストラ
前田裕久

皆様こんにちは。トーンポップスオーケストラです。私は三代目代表の前田です。

東員町で練習、昨年二十五回目の定期演奏会を柿安シティホールにて行うことが出来ました。スポーツ、文化共にコロナ禍により練習場の閉鎖もあり、実に五年間定期演奏が出来ませんでした。又今までは光精工コミュニケーションプラザでずっとさせて頂いておりましたが、会館の改修に伴い、駐車場等の問題もあり昨年より柿安シティホールで演奏会をさせて頂いております。こちらは収容人数が実に三倍以上となり、心配もありましたが、七百席がほほいっばいになる程の盛況に終わりました。

ジャズ・ラテン音楽を中心とした楽しい曲の数々と実力派ボーカルにより皆様に楽しんで頂けました。メンバーもあまり若くはありませんが、古き良き時代の得難いサウンドを誇るバンドと自負しております。今後も初代リーダーの志をしっかりと守り、トーンポップスオーケストラを続けて行



けたらと思っております。今年も十月五日に柿安シティホールにて定期演奏会を予定しております。皆様どうぞお楽しみに。お待ちしております。

沖繩の風に乗り、響く琴の音

芸能I部門

琴伝流大正琴みさき会多度

森 弘美

私が所属する琴伝流大正琴みさき会は、全国子ども大正琴コンクールで文部科学大臣賞の受賞歴をもつ中学生から最高齢は九十代と幅広い年齢層のメンバーで構成された大正琴のチームです。

このたび、私が属しているみさき会多度教室が、大正琴アンサンブルの最高峰とされるコンサートの挑戦した結果、遠い海のかなたの沖繩で演奏できた経緯を振り返りたいと思います。

このコンサートは、厳正なテープ審査に合格したチームしか参加できません。先生から「コンサートに挑戦しましょう」と声がかかりましたが、今年は沖繩での開催であることも含め、今の自分たちが挑戦できるのか、皆不安に思い躊躇しました。

しかし、すぐに答えは出しました。みんなで「天城越え」に挑戦しよう。早速、先生の指導を受けながら何度も繰り返しデモテープを作り応募してしばらく、待ちに待った「合格」の通知が届きました。この日から本番まで「天城越え」一曲に気持ちを込めての練習が続きます。

いよいよ私たちは、六月下旬に梅雨明けの沖繩へと飛びました。「いつもの練習のように弾けば大丈夫」と先生の言葉を信じ、私たちは沖繩の地で思う存分、演奏を楽しみました。演奏直後の会場の拍手を聞きながらのメンバーの晴れやかな表情は、沖繩の澄んだ空、強い日差しよりもまぶしく輝いていたように思います。



上演すれば、そこは劇場

演劇部門

演劇集団Cブレンド

相原千景

私たちはいわゆる「小劇場演劇」がベースの劇団としてスタートしました。小さな、壁も床も天井も真っ黒に塗られた、太陽光の入らないブラックボックスが理想の劇場です。しかし、桑名には、そういう芝居小屋がありません。他の若手劇団と協力して、寺町通商店街にブラックボックスをイメージした小劇場をしつらえたこともありました。が、やはりお借りしている場所なので、改装に限界もあり、さらにコロナ禍には三密回避ができず、撤退することとなりました。

劇団設立当初から、ブラックボックスを求める一方で、挑戦し続けてきたことがあります。「劇場ではないところ」で芝居を上演することです。その場を、丸ごと活かす。空き家を借りて、シェアハウスで暮らす女の子たちの物語をやった。お寺の本堂で、鬼たちのサミットをやった。桑名演劇協会の事業としては、六華苑を華族の邸宅としてミステリーを上演。コロナ禍には、夜の九華公園の野外ステージを、深海に見立てて公演しました。他にもさまざまに

「その場所を活かした芝居づくり」に取り組んできました。劇場という場所にとらわれない表現は、もはや私たちのライフワークだと思っています。

今、私たちは、赤須賀の小さな古民家を「アトリエ」として、そこで稽古だけでなく、建物の風情を活かして、小さな公演を行うようになりました。また、秋の市民芸術文化祭には、七里の渡し近くの「れすとらんあずまや」の店舗をお借りし、その雰囲気を活かした演目を計画しています。あずまやさんのお料理を召し上がっていただきながらの観劇という、面白いスタイルです。

私たちが、そこへ行き、芝居を上演すれば、そこは劇場になる。劇場から飛び出して、桑名市内のあちこちに出没する劇団、Cブレンド。市民の皆さんにとって、演劇上演を身近に感じてもらえる、きっかけになりたいと思っています。



桑名地名あれこれ(33)

〜京町かいわい〜

社会文化部門
(個人会員)

大河内 浩

桑名市博物館や石取会館のある京町、江戸時代の昔から明治大正昭和と、桑名市街で一大繁華街の名声を築きました。町名の由来で「京へ向かう道筋」という説もありますが、京町では「京は洛陽の地にて」と伝えられ、石取祭車の車輪は飾り金具が施された当町独特、唯一の御所車仕立てです。

江戸時代初め、城下の町割りや東海道桑名宿制定の頃から市街の中央にあつて賑わいの様子が名所図会にも描かれました。明治以後公共建物も多く、西端の郷方役所と御門があつた京町見附には明治7年〜27年に当時公立桑名病院、大正5年に南魚町から桑名町役場が移り市役所に、戦災後昭和27年市役所の移転後は都市計画事務所を経て昭和43〜44年には図書館、46年から京町公園となり62年には市制50周年碑が設置されました。

町の南には桑名城外堀が流れて西端、明治10年埋築の旭河岸・堀止めは郵便局や電信局が置かれ、三重県電話発祥地碑が立ちます。町の中ほど南並びに明治25年から昭和2年警察署も置かれました。

また金融機関も幾つか出入りし明治12年、東端の片町地内ですが京町通りに面して国立第百二十二銀行ができました。明治37年同行撤退後、翌38年から昭和34年まで西の方、現在電器店の所に名古屋銀行(後の東海銀行)、大正9年その筋向いに百五銀行桑名支店が店を構え、昭和45年同行移転後は美術館から博物館となりました。



京町にあった金融機関のひとつが改装されて昭和46年に市立文化美術館、さらに昭和60年には三重県初の博物館となりました。桑名市博物館は、名所図会の煉油橋屋の場所です。

石取会館は大正14年築の四日市銀行行舎で、昭和11〜49年の間は本年設立百年の信用組合桑名金庫(現在の桑名三重信用金庫)が使用、平成4年石取会館、23年登録有形文化財建物になりました。

ご賛助いただいたいております
特別会員の皆様
9月1日現在
(五十音順)

- アートスペース美園様
- 医療法人 桑名病院様
- 医療法人 誠会山崎病院様
- 魚重楼様
- お菓子処「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社 朝日精工様
- 株式会社 歌行燈様
- 株式会社 グランビル様
- 株式会社 山水園様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイ・ステージ桑名様
- 木村洋子様
- Creator・atelier・coffee様
- 桑名シティホテル様
- 桑名三重信用金庫様
- 在日本大韓民国三重県桑名支部様
- 茶道裏千家 丹羽宗俊様
- 中央不動産株式会社様
- 花新江場中店様
- 花乃舎様
- 光精工株式会社様
- ヒルカワ金属株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 諸戸コーポレーション株式会社様
- 有限会社 茶茂様
- 有限会社 丁子屋様

日頃よりご協力いただき、
深くお礼申し上げます。

編集後記

「桑名文協」第58号は、今年度新しい広報委員の面々も迎えて、新体制で編集をスタート致しました。この秋の市民芸術文化祭の案内や、各部門の会員の具体的な活動の様子が紹介された内容となっています。

桑名市文化協会は、十一の部門で構成されています。その中の各会員による魅力的な活動を拝見するにつけ、桑名の文化芸術の発展に尽力されている姿に感銘を受け、学ばせていただいています。

「桑名文協」が会員にとって、幅広く各部門や各会員の活動を知る媒体となり、会員相互の交流を図る一助になればと思います。

(岡本 早苗)

- 広報担当副会長 安田 治三
- 広報担当副会長 岡本 早苗
- 委員文学部門 水谷 善幸
- 美術部門 佐藤 武男
- 音楽部門 葛巻ゆかり
- 芸能I部門 杉野さおり
- 芸能II部門 多胡 俊一
- 芸能III部門 近藤美詠子
- 芸能IV部門 相原 千景
- 演劇部門 大嶋 敬子
- 茶華香道部門 大河内 浩
- 社会文化部門 加藤 誠
- 趣味教養部門